

こんな活動です

登録ボランティア「ざおうっ子応援団」による地域全体で子供を育てる活動

宮城県蔵王町

活動名

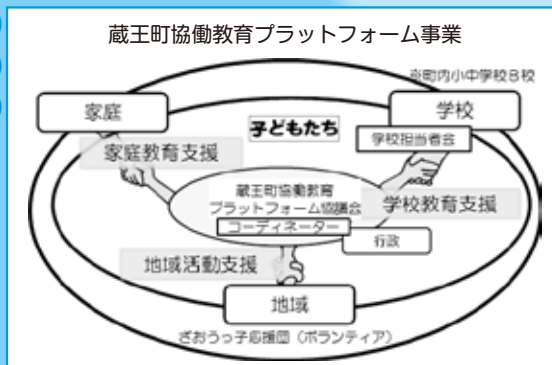
蔵王町協働教育プラットフォーム協議会による活動

関係する学校名

蔵王町立小中学校 全8校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		0人	1人	113人	有	24年度	有	無	有
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携				
土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携	
コミュニティ・スクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数		

体制図



《概要》

- ・ 家庭・地域・学校・行政の連携・協働により、地域全体で子供を育てる体制を整備。
- ・ 地域の教育資源（人材を含む）の発掘による地域の教育力の向上。
- ・ 地域住民の知識・技能を教育活動に活用し、地域住民の社会参加の機会を拡大。

《経緯》

平成17年度からスタートした補助事業「起業教育普及啓発活動事業」から、「コラボスクール推進事業」「学びあい支え合い」「蔵王町学校支援本部事業」を経て、平成24年度から「蔵王町協働教育プラットフォーム事業」として実施し現在に至る。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

- ・ 母親クラブを中心としたボランティアによる「本の読み聞かせ」を町内全小中学校で週1回～月2回程度実施し、本との出会いや友達との共通体験の機会を提供。
- ・ 図書整備ボランティアによる「学校図書室の整備」を月1回程度実施。図書室にある本の修理や新しい本の補強等を実施。
- ・ ボランティアによる「登下校指導・見守り」を実施し、小学生登下校時に、児童が安全に下校できるよう指導見守りを実施。
- ・ 主として、町内在住で特別な技術・技能・知識を有するボランティアによる「学習支援活動」を実施。
 【(国語) 毛筆指導、【算数】そろばん指導、【社会】蔵王町の産業について、蔵王町の歴史(文化財)について、蔵王町の公共施設について、【理科】水の動き・町を流れる川について、【音楽】合唱指導、【家庭科】ミシン補助・指導、【総合的な学習】EM発酵液づくり、昔話・民話の伝承、太鼓演奏指導、性教育指導、国際交流・国際理解支援、福祉体験、人権教室、生け花教室、ジオパーク(地域を知る)学習(ほか)
- ・ 町内在住で特別な技術・技能・知識を有するボランティアによる「校外活動支援」を実施。
 (水辺の楽習(環境教育・郷土教育)、登山指導(登山ガイド・事前学習)、スキー教室)
- ・ 町内事業所の協力を得て、町内中学生の「職場体験学習」を実施。事前学習として「マナー講座」も併せて実施。

【実施に当たっての工夫】

- ・ 登録ボランティア組織を「ざおうっ子応援団」と称し、リーフレットを町内全戸に配布するなどして活動の普及啓発を促進。
- ・ ボランティア研修会を開催し、ボランティアの資質の向上を図るとともに、活動別のグループに分かれての情報交換会を行い、互いに抱える悩みや課題、またその改善策などを共有。

● 事業を実施しての効果・成果

- ・ ボランティアによる(教員ではカバーしきれない)地域に根ざした学びや深く幅広い知識・技能による『学習の動機づけ』と『学習効果の向上』。
- ・ 地域の子供と大人が互いに顔見知りになることによる『見守り効果』と『地域全体で子供を育てる意識の向上』。
- ・ 活動に携わるボランティアが、自分の知識や特技を生かすことで、様々な場面において必要とされ、感謝されることによる『喜びや生きがい、自己有用感の創出』と『地域のマンパワーの拡大・発展』。

● その他

- ・ 町企業振興連絡協議会・町観光物産協会に加盟の企業等の協力(派遣先として)のもと、町内中学生の「職場体験学習」を実施。(民間企業・NPO・任意団体等との連携)
- ・ 総合学習における郷土教育のほか、国・数・社・理等の学習における学習支援など、ボランティアによる幅広い学習支援を提供。



総合学習「水辺の楽習」の様子



「読み聞かせ」の様子